

生活者に、新しい投資スタイル＝“プチ投資”が広がる

- ・「企業の人格」に注目した、長期保有志向
- ・投資を通じて、暮らしに役立つ知識を身につけたい

—博報堂が、「プチ投資家の投資スタイル」調査を実施—

(株)博報堂は、オンライントレード等により新たに投資に関心を持ち始めた生活者をメプチ投資家モと命名し、昨年2月より[「暮らしと投資を考えるプチ投資家サイト『Angel Café』\(エンジェルカフェ\)](http://www.angelcafe.gr.jp)

[〈http://www.angelcafe.gr.jp〉](http://www.angelcafe.gr.jp)(登録会員数 7600 名)を独自に運営し、その動向を研究しています。

このたび、Angel Caf誌纏ナ、プチ投資家の投資スタイルに関する調査を実施いたしました。

主な調査結果のポイントは、以下のとおりです

<調査概要>

実施時期： 2001年8月6日～20日

調査方法： インターネット調査

対象者： Angel Café 中で、現在株式投資(単位株、ミニ株、累投)を行っている人

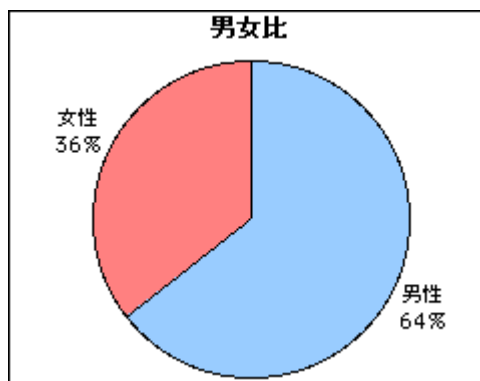
回答者数： 315 名

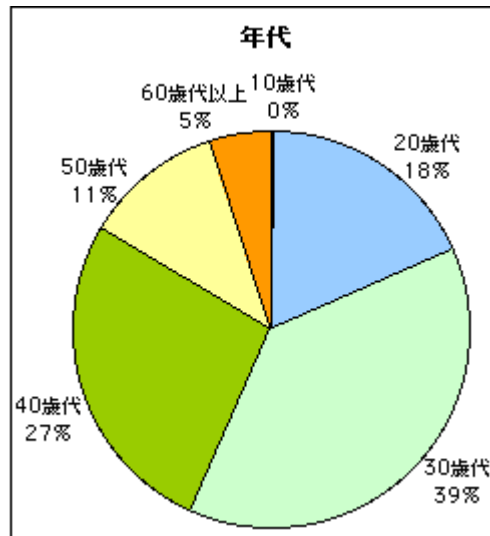
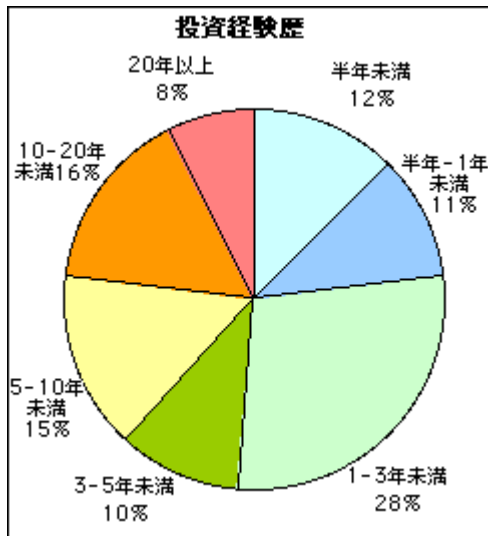
<回答者プロフィール>

● 投資歴3年未満のビギナーが半数以上

投資歴3年未満のビギナーが半数以上を占めています。

40代以下が84%を占めており、女性比率も36%と、株式手数料の自由化やオンライントレードの浸透による、投資家層の広がりが伺えます。

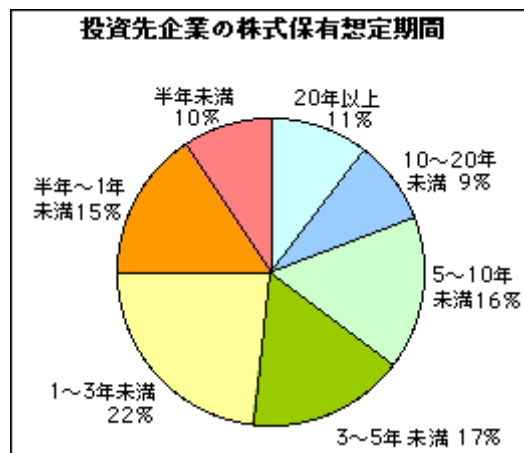




<調査結果のポイント>

●プチ投資家は、長期保有志向

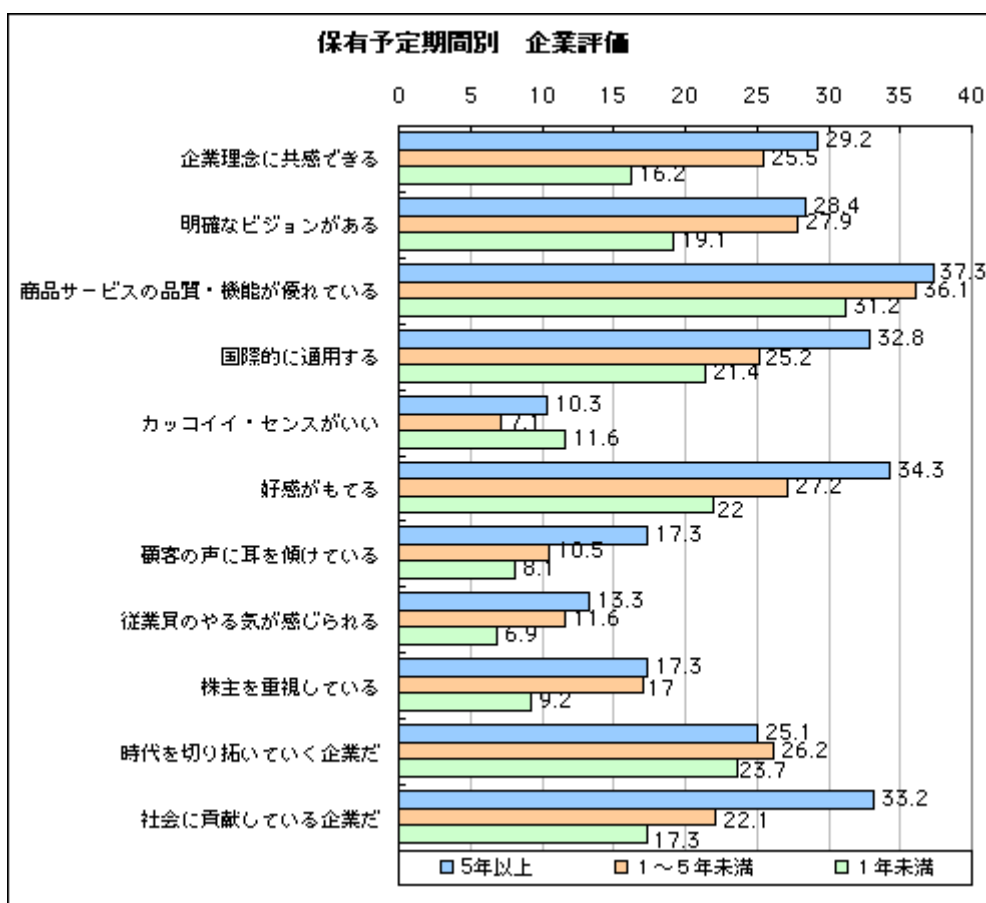
投資先企業の「想定株式保有期間」は、3年以上が53%を占め、うち10年以上が20%と、長期投資の傾向があらわれています。



●『企業の人格』が、プチ投資家に長期保有を促すポイント

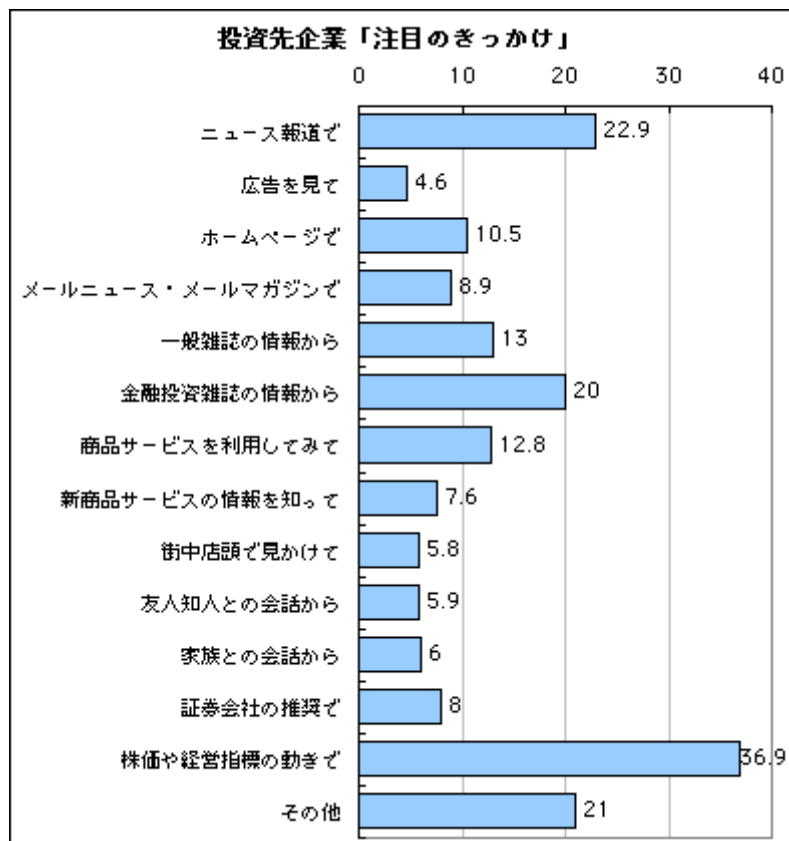
投資先企業に対しての評価と想定株式保有期間の関係を見ると、「企業理念に共感できる」、「明確なビジョンがある」、「好感が持てる」、「社会に貢献している」といった、『企業の人格』を表す評価項目で、「5年以上」の長期保有と「1年未満」の短期保有のスコア差が明確に出ており、長期保有を促す上での重要なポイントであると思われます。

一方、「カッコイイ・センスがある」、「時代を切り拓いていく」といった『先進イメージ』を表す評価項目では、保有期間による差は見られませんでした。



●ふだんのくらしから、企業に注目

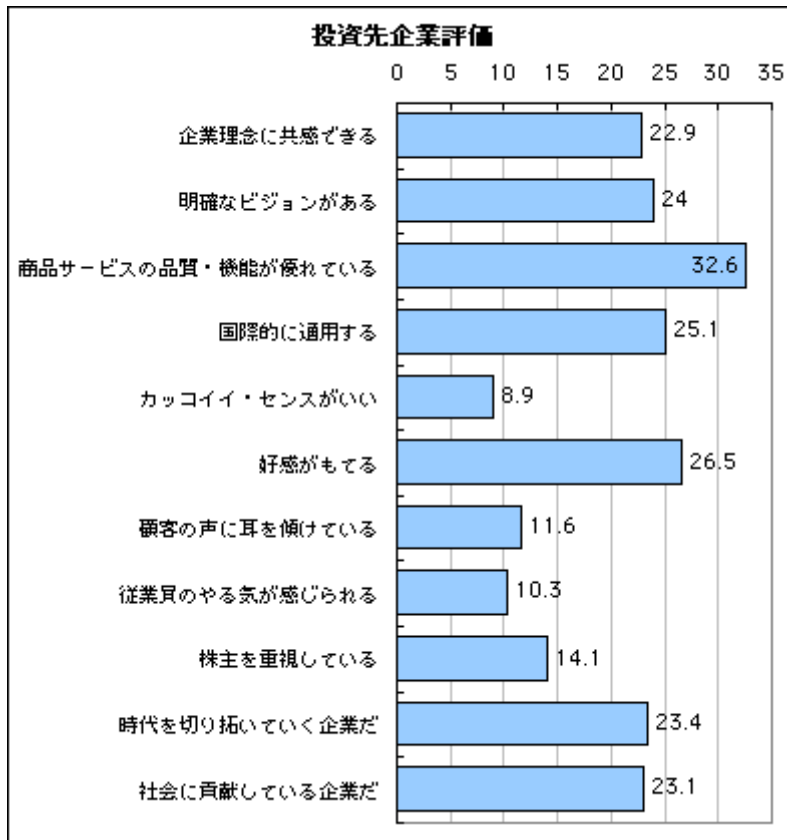
投資先企業に注目したきっかけは、「株価や経営指標の動き」(36.9%)が最も高くなっていますが、「ニュース報道」(22.9%)、「金融投資雑誌」(20.0%)、「一般雑誌」(13.0%)、「商品サービスを利用してみて」(12.8%)など、ふだんのくらしの中で接するメディアや消費行動でも幅広くアンテナを張っている様子が伺えます。



●「商品サービスの品質・機能」が、投資先企業を評価する最大のポイント

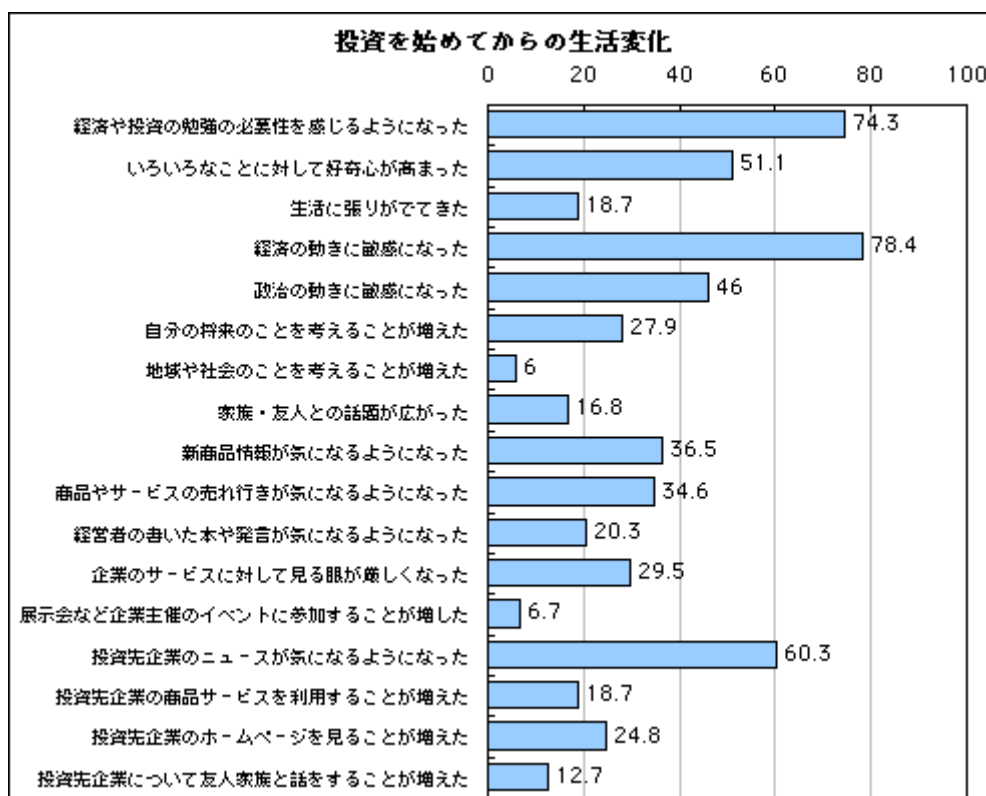
投資先企業に対する評価は、「商品サービスの品質・機能がすぐれている」(32.6%)が最も多くなっています。

一方、「顧客の声に耳を傾ける」、「従業員のやる気が感じられる」、「株主を重視している」は、他の項目に比べると評価が低く、企業のIR活動の大きな課題といえます。



●投資を通じて、将来の暮らしに役立つ知識を身につけたい

投資を始めてからの生活変化では、「経済の動きに敏感になった」(78.4%)、「経済や投資の勉強の必要性を感じる」(74.3%)、「企業のニュースが気になる」(60.3%)など、投資や経済に直結した変化のほか、「いろいろなことに好奇心が高まった」(51.1%)、「政治の動きに敏感になった」(46.0%)、「将来のことを考えるようになった」(27.9%)といった意識の変化や、「新商品情報が気になる」(36.5%)、「企業のサービスを見る眼が厳しくなった」(29.5%)といった企業との接し方にも変化が生じています。



「プチ投資を始めて良かったと思うこと」については、

以下のような意見が見られました。

・政治・経済に強くなった

「新聞をよく読み、電車の中の広告でも細かくチェックするようになった。」

(36才女性投資歴1年未満)

「社会の変化を身体で感じられるような気がする。」

(36才男性投資歴10年以上)

「経済に詳しくなった。知らない事は戦わずして負けである事を知った。」

(39才男性投資歴5年未満)

・社会に参加していると感じる

「消費より楽しい社会参加だと感じています。」

(37才女性投資歴3年未満)

「自分のような者でも、資本主義経済に直接関わっているんだなあ…と感じるようになった。」

(43才男性投資歴3年未満)

・大局的なものが見方ができるようになった

「目先の事象に一喜一憂する事無く大所高所から物事を見る目が養われたと思う。」

(60才男性投資歴20年以上)

「今までより、経済情報の全体の流れを気にするようになって、少し離れたところから、物事を考えるようになった。」

(46才女性投資歴3年未満)

・夢が持てる

「向上心と夢が出る」

(37才男性投資歴3年未満)

「自分の将来を考える機会が増えました。漠然と定年を考えていましたが、公的年金に過度の期待を持ってはいけない状況では、自己責任のもとで「お金」に対してより積極的に勉強していかなければならないと感じ始めています。」

(41才男性投資歴3年未満)

・自分の信念を持つようになった

「考えの幅が広がったと思うし、景気などについても自分なりの意見をもって社会を見ることができるようになったと思います。」

(42才男性投資歴3年未満)

「ハイリスク、ハイリターンがある事と、自己責任の考えが早くから身についたことです。」

(66才男性投資歴20年以上)

・洞察力が身についた

「経済や政治に関心が高くなり、向上心を持つようになった結果、企業に対する観察や意見も明確になった」

(41才女性投資歴3年未満)

「商品を購入する前に、これは本当に値段に見合った価値があるのか良く考えるようになった。」

(25才男性投資歴3年未満)

・お金を大切に使うようになった

「無駄使いが減った(ような気がする)。経済の勉強をするようになった。」

(30才男性投資歴3年未満)

「お金を大切に使うようになった。」

(29才女性投資歴5年未満)

・仕事に役に立つ

「今まで読みもしなかった経済指標まで目を通すようになった。同僚や上司との会話にも数字をあげて話をできるようになった。」

(28才男性投資歴半年未満)

「金融・経済・政治などの社会情勢に詳しくなって、上司と対等に話せるようになったこと。」

(28才男性投資歴3年未満)

・家族の会話が増えた

「主人にエクセルで株の売買表を作ってもらって収支をつけるのが楽しく、それにパソコンに触れる機会がとて増えたので、いい勉強になります。株も楽しいし、パソコンも楽しいで、言うことなし。」

(26才女性投資歴3年未満)

「親との会話が増えた」

(30才女性投資歴3年未満)

・生活が楽しい！

「まだまだ初心者です。毎日株式ニュースや商品CMに注目して、張りが出ました。好奇心を持って生活することはいいことですね。」

(52才女性投資歴1年未満)

「生活に張りができたと思います。自分なりのアンテナを張らせていこうと思ってます。興味の幅が広がってよかったです。」

(36才女性投資歴1年未満)

「毎日わくわくすごしています。なんとなくスリル感があって、それでいて、社会に関して興味が広がり、知識がふえます。始める前とは、物の見方が変わりました。」

(39才女性投資歴3年未満)

「生活者」であると同時に「投資家」であるプチ投資家たちの声には、企業が変革期のさまざまな経営課題に対応する上での大きなヒントがあります。

今回の「プチ投資スタイル調査」では、従来型の投資とは一線を画す、「プチ投資」という「新しい生活者行動の実態」を把握するとともに、企業のIR活動や企業ブランディング活動への示唆が浮き彫りになりました。

博報堂では、これらの調査結果をもとに、今後ますます拡大していくと思われる新しい投資家層の最新動向を把握し、企業と生活者を元気にするための新しいマーケティング&コミュニケーション支援サービスを強化していきたいと考えております。

—本件に関するお問合せ先—

(株)博報堂インタラクティブ局 平林典子

東京都港区芝浦 3-4-1 グランパークタワー

TEL:03-5446-6431